

令和2年度 さいたま市立七里小学校 学校関係者評価書

さいたま市立七里小学校

学校関係者評価委員長 猪原 諭



1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

9名 (学校評議員 9名)

(2) 実施回数

3回

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- 学校評価が年々よくなっている。子どもたちにとって、学校が楽しいのが一番である。結果から、子どもたちが充実した学校生活を送っているようで満足である。引き続き、子どもが楽しく、興味をもってもらえるような授業や学校行事に努めてもらいたい。
- あいさつがよくできる子どもが多い。小学校で養われたあいさつの風土が中学校でも受け継がれていて、とても良い。
- タブレット型PCの導入により、自ら考えたり調べたりする力や姿勢が身に付いていくように思われる。そのため、タブレット型PC活用へのアプローチが必要となってくる。
- 子どもの課題を大人が認めて、その解決のために適切な対応を取った方が子どもにとってよりよい未来が開けていく。日々の指導に感謝している。
- コロナ禍での学校生活で、先生方は様々な工夫をしながら日々の教育活動に取り組んでいただいている。感謝している。今年度は学校行事等がほとんど実施できないような状況であったことは仕方ないが、今後アフターコロナ、ウィズコロナの中でも、保護者や地域を受け入れられるような対応をお願いしていきたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 特別活動の研修等を通して、子どもたちが、自ら考えたり主体的に取り組んだりすることができるように、基礎・基本の定着や家庭学習の習慣化を進めていく。
- 教育目標に向けた取組を懇談会や学年だより・学校Webページ等で説明していく。
- 授業で「分かった、できた、もっと知りたい。」と児童が思えるように、進んで学習できるような環境を整えていく。そのために、家庭、地域、保護者との連携をさらに進めていく。
- 特別活動の視点を生かして授業改善を進め、児童が自分の考えをしっかりともったり、新たな課題を見つけたりするなどの力を身に付けさせることができるような、充実した学習活動が行われるように努める。
- 学校行事等の精選を図りながら、地域に開かれた学校づくりを推進していくために、学校運営協議会(コミュニティスクール制度)を令和3年度より実施する。
- GIGAスクール構想の中で、一人1台のタブレット型PCが配付されていく。そのような学習環境の中で、今後は必要な資料や地図などを子ども達が選ぶのと同じように、ごく自然にタブレット型PCを選択活用していくような姿を育てていく必要がある。そのような環境づくりを学校全体で研修し、推進していく。

さいたま市立七里小学校長 保坂 泰司



※ A4 1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。